



公明党 市川陽子 議員

## 行政施策について

**問** 第2次総合計画は、市長の施政方針と一体性を成し、4年間の任期と連動しています。基本事業の目指す姿の中で、現状値及びめざそう値が、横ばいにならないか伺います。

**答** 総務部長 重点分野については、政策的に成果と向上を目指し、重点的な予算確保や既存事業の見直し、新たな事業展開を図るため、高い水準で設定しています。通常事業は、選択と集中の観点から、法令及び安全面からの対応等を除き、現在の事業内容に維持向上を図る水準で、目標値にしています。

**問** 平成28年5月、SDGs推進本部が立ち上がり、民間企業や各自治体でも、その理念や施策を取り入れる動きが始まっています。また、学校教育でも、新学習指導要領に、維持可能な社会のつくり手の育成が明記され、

積極的に推進することになりました。まずは、理念と推進の必要性を多くの人が理解し、それぞれの分野で協力し、目標達成に向けて進んでいく必要があると思います。どうですか。

**答** 市長 地方創生を目指すなか、少子高齢化の歯止めには、地域の人口減少と地域経済の縮小を克服し、地方が将来にわたり安心して暮らせるような、持続可能なまちづくりが考えられます。今後は、国や他の自治体の動向も参考にし、取り組んでいきます。

※SDGs：持続可能な世界を実現するための国際目標。17のゴール、169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っている。

## 防災・減災の対策について

**問** 防災行政無線が聞きづらいという市民の意見を把握していますか。

**答** 総務部長 把握しています。機材の耐用年数から、年間230台の戸別受信機の修理・更新が必要となっており、その数は年々増加しています。

**問** 市は60MHzですが、日光市は280MHzの電波を使用した、防災行政無線システムを使用しています。端末で信号を音声に変えており、音声が非常に明瞭でした。また、山間部に入り組んだ地域もカバーでき、市内全域で電波を拾うことができます。防災

行政無線システム更新に向けて、具体的な検討をしているか伺います。

**答** 総務部長 適切な情報を適時に市民に伝達することが、市民の命を守る上で非常に重要であり、行政の重大な責務であると理解しています。防災行政無線システムの更新と選考に当たっては、確実性、将来を見据えた運用コスト、拡張性、利便性等を比較検討し、判断してまいります。

## 駅周辺について

**問** 松尾駅周辺整備の進捗状況について伺います。

**答** 都市建設部長 平成30年度から令和4年度までの、5カ年間計画で進めています。本年3月に、松尾駅前交差点部分から国道126号線までの県道部分にボックスカルバートを設置する工事、約300mを発注しており、今年度は市営駐車場地下へ貯留槽を設置する工事と、影響を受ける駐車場の移設工事の発注を予定しています。

**問** 停止線や横断道路の白線が消えており、事故につながる心配があります。各駅周辺の白線の対応について伺います。

**答** 都市建設部長 松尾駅前には、交差点部分の横断歩道の引き直しも含め、附帯工事で実施予定です。成東駅南口線工事区間は、工事の中の対応

と県から聞いています。日向駅周辺は、山武土木事務所へ現状の報告をします。

**問** 松尾駅構内も、通勤・通学での送迎時に利用していますが、白線が消えて大変危険な状態です。対応について伺います。

**答** 都市建設部長 松尾駅前交差点部分の横断歩道の引き直しと合わせて実施する予定です。

※ボックスカルバート：下水や雨水を流すための箱型のコンクリート製管路

## 成東駅前観光交流センターについて

**問** 観光の観点から、今後の役割をどのように考えているのか伺います。

**答** 経済環境部長 NPO法人である市観光協会が、交流センターを拠点に、窓口案内とホームページ等で観光情報の発信を行っています。また、観光客の市内観光施設の移動手段として、観光用レンタサイクル事業を実施しています。今後、ニーズを把握し、にぎわいの創出につながるよう、実現に向け検討します。



レンタサイクル用の電動アシスト付自転車

## 個人質問